

広報

拓北あいの里

題字 長尾 由紀子

第 85 号

発行日 令和8年3月19日

発行 拓北・あいの里連合町内会

北区委いの里1条6丁目 拓北・あいの里まちづくりセンター
TEL 778-2355

発行責任者 拓北・あいの里連合町内会会長
長尾 由紀子

編集責任者 拓北・あいの里連合町内会広報部長
三谷 英男

拓北・あいの里地区 令和7年度

主な活動

- 5月・連合町内会総会
- 6月・あいの里地区町内会長連絡協議会総会
- 7月・拓北地域町内会連絡協議会総会
第1回単位町内会長会議
- 8月・あいの里ふれあいまつり
拓北盆まつり
福祉除雪説明会・意見交換会
広報誌84号発行
- 9月・2025年みんなで歩こう会
文化フェスタ・ステージ発表
文化フェスタ・ホール展示発表
第5ブロック防災訓練
第4ブロック防災訓練
第3ブロック防災訓練
- 10月・第3ブロック防災訓練
- 11月・北部三連町協議会総会
除雪連絡協議会
第2回単位町内会長会議
- 12月・民生委員児童委員一斉改選
委嘱状伝達式
- 令和8年
1月・ひまわり連合自治会新年交礼会
連町創立30周年記念式典・祝賀会及び令和8年新年交礼会
たくあいキャンドルナイト
第3回単位町内会長会議
認知症対応事例検討会
広報誌85号発行
- 2月・第3回単位町内会長会議
- 3月・広報誌85号発行

次の10年、更にその先へ愛みつめて翔く、
連町創立30周年記念式典及び祝賀会

新しい年の幕開けに合わせ、1月7日（水）札幌サンプラザに於いて連合町内会創立30周年記念式典・祝賀会及び令和8年新年交礼会が開催されました。

午後4時からの玉葉の間の記念式典では、長尾会長からこれ迄のまちづくりへの協力に感謝する挨拶があり、佐藤北区長からは町内会をはじめ、社協・民児協等地域の団体と住民が一体となった元気なまちづくりが今後にも繋がることを祈念する祝辞がありました。

その後、祝電披露に続き、住民の福祉向上と住みよいまちづくりへの貢献に対し、地区社協・同民児協・札幌協働福祉会の3団体代表及び連町松井顧問・近藤相談役へ長尾会長から感謝状が贈られ、受賞者を代表して渡邊地区社協会長から、一団体に限らない地域の多くの団体・住民の協力あつてのまちづくりの結果という謝辞が述べられました。祝賀会場の金枝の間では、札幌あさひ太鼓が121名の参加者を出迎えました。



長尾会長・祝賀会挨拶

開会の挨拶で長尾会長は、平成8年に篠路茨戸連合町内会から独立して以来の歴史を先輩諸氏・行政諸機関・議員諸氏・歴代まちづくりセンター所長・町内会及び地域の皆様への感謝と共に振り返り、「人と緑が調和するやさしく支え合うまち」を主眼に今後も誰もが安心して暮らせる「防

災」「防犯」「福祉」に強いまちづくりを誓い挨拶を締めました。

次に、ご来賓を代表し篠路茨戸連合町内会進藤会長から連町・住民一体の地域に根差した活動に対する敬意とともに、今後の課題に地域のパートナーとして共に取り組んで行く旨の温かい祝辞がありました。

祝宴は田村北区市民部長の、市内で最も新しい連合町内会30年の歩みへの労いと今後の発展を祈念する乾杯の発声で始まりました。

祝賀会は終始和やかな雰囲気の中行われ、琴と尺八、日本舞踊、サップロ・インディゴ・ウインズの演奏で会は一層賑わいました。

2時間半近い祝賀会は、記念式典で感謝状の贈呈を受けた近藤連町相談役のユーモアを交えた挨拶と締め乾杯で幕を閉じました。

2年近く準備に携わった連合町内会役員等の関係者、ご協賛・ご協力いただいた町内会・諸団体・学校・企業・地域の皆様に深く感謝申し上げます。

写真で振り返る『連町創立30周年記念式典&祝賀会』

令和8年(2026年)1月7日(水)16:00～ 札幌サンプラザ



記念式典／北区長祝辞



感謝状贈呈



式典会場風景



受賞者記念撮影



石丸流札幌あさひ太鼓



祝賀会／篠路茨戸連合町内会
進藤会長祝辞



祝賀会風景



あかね
①明音会／②若竹会



連町30周年記念事業記念品

④『2026カレンダー』
札幌協働福祉会ユーザー作製

⑤『コースター』
札幌あいの里支援高等学校生作製



サッポロ・インディゴ・ウィンズ



単位町内会長会議

◆第二回（11月22日（土））

・29町内会から34名参加

【道医療大鈴木副学長の 移転に関する経過説明】

長尾会長の挨拶の後、北

海道医療大学鈴木邦仁経営

管理担当副学長から北海道

医療大学の

病院の北

広島市移

転に関する

のその後

の経過に

ついて説

明がありました。

【各部等の報告・連絡】

総務部

連町創立30周年記念事業

準備状況・内容案紹介

広報部

①編集委員構成・年間計画

②第85号発行スケジュール

社会福祉部

「みんなで歩こう会」

環境部

実施報告

環沼リサイクル団地見学会

防犯交通部

実施報告

①北署・あいの里交番管内



犯罪及び交通事故発生状況
②拓北・あいの里地区交通
事故死ゼロ1000日達成
の表彰状授与について

厚生部

送迎バスによるがん検診の

日程紹介

まちづくりセンター

当地区の10月1日現在

町名・条丁目別世代別人口

【町内会からの意見・要望】

①交通安全旗無償配布につ

いて

②各町内会事業内容等の情

報収集とフィードバック

※この2点について各町内

会へのアンケート結果を第

3回単位町内会長会議で報

告

◆第三回（2月21日（土））

・28町内会から29名参加

【長尾会長から】

連町創立30周年記念式

典・祝賀会の終了報告と協

賛の御礼

【各部等の報告・予定】

総務部

①連町創立30周年記念式

典・祝賀会報告

②令和8年度総会の準備

広報部

第85号（記事内容を変更

社会福祉部
福祉見守りボランティア研
修会の実施内容及び案内
環境部

①各町内会事業内容等アン

ケート結果報告

②SNSの紹介

防犯交通部

①令和7年12月末現在の北

署及びあいの里交番管内の

犯罪発生状況並びに交通事

故発生状況

②交通安全旗無償配布アン

ケート結果報告

厚生部

令和7年12月～令和8年2

月の活動報告等

その他（会長より）

スクールゾーン委員会で棘

のひどい植物が話題になっ

た。手に負えないものは土

木に伐採要請を

【町内会からの意見・要望】

①各町内会アンケート結果

は大いに活用したい。

②交通安全旗～希望枚数の

多い町内会の使い方

③単位町内会会長名簿の作

成～アンケート等を通じ検

討

④選挙公報配布の在り方～

地域の声を担当部局に伝達

北海道医療大学病院 移転に関する状況について



北海道医療大学病院は、
北海道医療大学の学生の確
保など経営上の課題を理由
に、大学とともに北広島に
移転を予定しております。

昨年8月29日の北海道新
聞朝刊において、病院の移
転を当面見送る旨の報道が
ありました。

この報道は法人の決定前
の報道でしたが、その後昨
年11月に正式な決定内容に
ついて、次の通り説明があ
りました。

○大学は当初の予定通り
2028年4月に北広島
に移転するが、病院の移
転は延期する。

○病院の具体的な移転時期
は未定。

○病院の移転時期とは別
に、赤字経営の改善のた
め、内科、整形外科、小
児科、歯科以外の診療科

を2028年3月までに
順次廃止する

○診療科の廃止について
は、患者さんに個別に周
辺医療機関への引継ぎな
どの対応を行う。

○地域包括ケアセンターの
訪問歯科は病院に移管、
訪問介護事業は廃止、訪
問介護事業は別法人にお
いて事業継続を検討中
である。

連合町内会としては、少
子化など大学を取り巻く経
営環境を踏まえると、大学
の移転はやむを得ないもの
の、大学病院等が持つ医療・
福祉機能は地域に不可欠で
あり、他の医療機関の誘致
などによる機能の維持・継
続を求めてまいりました。
病院側の説明では、機能
維持については現在も承継
先や方策を検討中とのこと
でした。

連合町内会としては、引
き続き病院移転後の医療・
福祉機能の継続を大学法人
に強く求めていくとともに、
先行して廃止する診療科の
患者さんに対しては丁寧な
対応を求めてまいります。

2025年 みんなで歩こう会



9月6日(土) 快晴・無風・気温30℃という過酷な気象条件の中で、参加者70名、あいの里公園、あいの里緑道、せせらぎ緑道沿いを歩く約5kmの周回コースで「2025年 みんなで歩こう会」を実施しました。

9時10分からの開会式では、長尾連合町内会会長の挨拶の後、北区保健センターの保健師さんからウォーキングを楽しむための注意事項の説明を受け、入念な準備体操をして、9時30分地区センターを出発しました。

途中、あいの里公園トーンネウス沼で「カラカネイトトンボを守る会」の綿路先生から自然を守る取り組みの説明を受けた後、休憩を取りながら緑道沿いの住宅の庭に咲き乱れるお花を眺めたり、住んでいる人の憩いの場となっている公園を散策したり、日頃の運動不足解消とストレス発散のため、各人の年齢と、体力



に合致した

スピードで全員11時30分にはゴールし、完歩証を受け取ることができました。

連合町内会唯一の健康促進のイベントといえる「みんなまで歩こう会」は、今後と同様のコースで開催すべく計画を進めていくことにしていますが、実施日については、厳しい気象条件を考慮し、10月上旬の開催を検討したいと思っています。歩くことに自信のない方も十分楽しむことができますので、多数の参加をお待ちしています。

環境部 中沼リサイクル団地 見学会を終えて

日ごろ、何気なく捨てている家庭ごみがどのように処理(リサイクル)されているのか、総勢27名で、2つの資源リサイクルセンターを見学してきました。

①資源選別センター

ここでは札幌全市で排出される家庭用ビン・缶・ペットボトルの6割(80トン/日)を処理しています。材質別(ガラス・アルミ・スチール・ペットボトル)に機械で分別しきれなかったものは、ベルトコンベアに流れて人が手作業で分別しています。「不適合」とされるタバコの吸い殻が入った缶、飲み残しがあるペットボトルなど、人が目視で作業します。単調で大変な作業です。またペットボトルのキャップ・ラベルも分類が違うので、必ず外して容器包装ごみとして出して欲しいとのこと。リサイクルにより再利用できるはずのものが焼却・埋め立てされるのは環境負

荷になります。

②プラスチック分別センター

ここでは札幌全市分の家庭から排出される容器包装ごみ(軟質プラスチック)83トン/日を処理しています。ここでもベルトコンベアで流れてくるごみから人手で「不適合」ごみを分別しています。作業の様子を見ている中、大きなアクリル製毛布を取り除いていました。大変な労力が必要です。

担当の方からのお話で総菜等容器は軽く水ですいで出す、これは処理時に出る臭いを抑えるためだそうです。またおもちゃなどの製品プラスチックは燃やすごみになるので、間違わないように、迷ったら燃やすごみで出して欲しいとのことでした。

ちょっとした勘違いに気づく貴重な時間でした。



各ブロックで 防災訓練

令和7年度も全てのブロックで「防災訓練」が行われました。以下、開催順に訓練の概要についてご紹介します。

(1) 第5ブロック (9/28)

あいの里東小学校において、5町内会・ケア施設町内会・札幌協働福祉会等の協力のもと、総勢30名で実施されました。

今回は、公益財団法人札幌市防災協会から講師を招き、過去に発生した全国の風水害や地震とその被害状況、札幌市での想定地震被害、防災と危機管理に関する考え方や日ごろからの備えについて、約1時間お話を伺いました。



講話を熱心に聞く参加者

その後、ポット式石油ストーブ等の防災機器を見てもらいました。

ニュースで見える被災状況をどれだけ自分事として認識することができかが大事だと感じました。

(2) 第4ブロック (10/5)

鴻城小学校にて、避難経路の確認と避難所開設作業の確認を7町内会74名の参加で実施しました。

会場では昨年末に実施した避難所運営に関するアンケート結果(回収5町内会331件)の報告があり、災害対策には7割以上で取り組まれ、内6割では「在宅避難用」と「非常持出用」を分けて準備。また、戸建てでは、3分の1のお宅でペットを飼っている事が分かりました。

この後、ペットの専門家青山ともみ様(防災士/災害支援動物危機管理士®)に「ペットと人の命を守る防災」誰も取り残さない地域へ」と題し、ご講演を頂きました。

東日本大震災時、愛犬を

置いて避難した事をためらい、避難先から引き返して帰らぬ人となった悲しい事例も。防災とは、「死なないうための」準備、「災害をしのぐ」準備が必要です！とのお話でした。



ペットと防災に関する講話

(3) 第3ブロック (10/19)

合同防災訓練は基幹避難所のあいの里西小学校で行われました。

先乗りの役員等は会場設営後に教頭先生から防災備蓄庫、緊急貯水槽等の学校の備えを見せていただきました。

参加者は町内会毎で一時避難所に集合の後、9時迄に西小学校体育館に到着。

長尾連町会長挨拶の後、降雪期の災害への心構えをクイズ動画で学びました。

100名超の参加者は6つのグループに分かれ、心肺蘇生とAEDによる普通救命訓練、ダンボールベッドの組立訓練、札幌市防災協会の防災グッズ紹介、火を使わない備蓄食品の紹介等を順に廻りました。

訓練の後、基幹避難所に関する一般的な問い合わせへの回答があり、教頭先生から学校の防災の備えについて、消防の方から日頃の防火の備えと心構えについて説明を受けました。

基本的な内容の訓練に参加した皆さんは大変熱心に取り組んでいました。

(4) 第1・2ブロック (10/26)

拓北ひまわり会館を会場に、15町内会から69名が参加して「避難所での応急的な生活」を想定した訓練を行いました。

①段ボール箱を利用した段ボールベッド作り②間仕切りテントの設営③簡易トイレの組み立て④非常食(チョコレート蒸しパン)作り⑤非常食の味比べ等のメニューをグループごとで体験しました。

参加されたみなさんは、悪戦苦闘しながら段ボールベッドや間仕切りテント作りに取り組み、無事完成した時には大きな歓声が会場に響き渡りました。

アルファ米の食べ比べでは、お湯と水による味の違いに納得の表情を浮かべるなど、3時間ほどの訓練でしたが、参加者全員熱心に取り組んでいました。

災害がないこと・少ないことを願うのみですが、今の気象状況ではいつ何が起るかわかりません。

今後も、訓練を通してより一層防災意識を高め、災害時に冷静に対処できる地域でありたいと願っているところです。



チョコレート蒸しパン作り

連町創立30周年記念事業
記念誌『愛みつめて翔く』まもなく発行

連町創立30周年記念事業の一つであります「記念誌」発行の取り組みについてお知らせします。

記念誌『愛みつめて翔く』は2月末に校了し、まもなく発行となります。

記念誌の編集は記念誌編集部会員7名が担当し、作業を進めてまいりました。

編集にあたっては、①地域の方々に愛読され、大切にされる記念誌づくり②連町の30年の歩みとその時々地域の様子・思い出を中心に編集③部としての主体性を大切にしたり取り組み等を基本方針として取り組みました。

特に力を入れたのは、座談会の企画・運営です。



座談会の様子 (R7. 6. 26)

昨年6月26日、地区センターにおいて拓北・あいの里から各3名、南あいの里から2名、計8名の方々にご出席をいただき開催しました。座談会では、みなさんから積極的にご発言をいただき、予定の90分は瞬間に過ぎました。(詳しくは記念誌をご覧ください)



記念誌校正作業の様子

記念誌は、①30年の歴史②小中学生や地域住民からの寄稿文③町内会や地域各種団体からの寄稿文④地域の四季折々の写真⑤行事・活動の紹介⑥地域有志による座談会等々で構成されています。80ページ程度となりますが、ご愛読をよろしくお願いたします。

大坂連合町内会副会長
自治振興功労者表彰
受賞

昨年11月19日(水)、札幌パークホテルにて「令和7年度さっぽろ市民表彰式」が行われ、大坂登連合町内会副会長が自治振興功労者表彰を受賞されました。

これは長年にわたり、地域の自治振興に大きく貢献された方の功績をたたえたもので、北区からは2名が受賞されました。

秋元市長から大坂副会長に対し表彰状が贈呈されたほか、区長や他の受賞者との歓談など、喜びあふれた、心地のよいひと時となりました。



各種表彰の
受賞者をご紹介します

この地区から、様々な活動を通じて地域に貢献された方々が表彰されていますのでご紹介いたします。

※紙面の都合上、一部の方のご紹介となります。

◆札幌市優良青少年
及び青少年育成者表彰

佐藤 清 さん
(青少年育成委員会)

◆ます花壇優良制作者表彰
あいの里東町内会

開校10周年表彰
長尾由紀子 さん

(連合町内会)
木村 聡 さん

(拓あい汗かき開放館)
◆民生委員・児童委員

永年勤続表彰(20年)
眞所 幸司 さん

平 恵美子 さん

遠藤 裕子 さん
(以上地区民児協)

拓北・あいの里地区で交通
事故ゼロ1000日達成!

拓北・あいの里地区では、令和5年1月26日から令和7年10月22日までの

1000日間、交通事故ゼロを達成しました。

これを受け、10月24日に北区役所で表彰式が開催され、佐藤北区長から長尾連合町内会長に表彰状が手渡されました。

表彰式後の歓談では、交通安全実践会の安藤会長や交通安全母の会の住友会長から、子どもたちには日ごろから「横断歩道では左右をよく確認すること」や「話しながらスマホ操作しない」など、交通安全指導を行っているとお話がありました。

区長からは、地域の皆さんの日々の活動が交通死ゼロにつながっているの、引き続き交通安全啓発に取り組んでほしいとお言葉がありました。



第28回文化フェスタ開催

◆ステージ発表

こども縁日

暑さが残る9月7日（日）、拓北・あいの里地区センターで第28回文化フェスタが開催されました。館内では、地区センターで活動されているサークルや地域の団体のステージ発表会が行われました。

オープニングは吹奏楽の軽快な音楽で始まり、合唱や日本舞踊、手品やヒップホップダンスなどが披露されました。中でも、初参加の殺陣演舞は、剣を構え斬る瞬間に緊張感が走り、見る人の心を震わせるほど圧巻でした。また館外では、こども縁日が同時開催されました。ヨーヨーやお菓子すくい、千本引きなどを体験し、キッチンカーではいちご飴の販売などもあり、どのブースも賑わっていました。地域の高校生や大学生によるボランティアも参加し、約500人の子どもたちが、思い思いに楽しみ

大変喜んでいました。

縁日終盤にはステージ発表会に参加した北海道教育大学の学生によるよさこい演舞が行われ、こども達も一緒に鳴子を持って「よつちよれ」を元気よく踊り盛り上がっていました。

◆作品展示会

学生芸術展

9月26日（金）から28日（日）、拓北・あいの里地区センターにてサークルや地域の学生の芸術作品発表の場として、作品展示会および学生芸術展を同時開催しました。水彩画やさき織、写真やちぎり絵など素晴らしい作品が並び、学生の作品は若さほとばしる秀作ばかりで、鑑賞者を魅了していました。



防犯交通部主な活動

- 4月・あいの里交番訪問による治安情報収集
- 5月・刃物の様な物を持った不審者徘徊の防犯注意情報発出
 - ・自転車に反則通告制度
 - 適用の交通安全情報発出
- 6月・札幌北防犯協会連合会定期総会出席
- 7月・あいの里東中学校区青少年健全育成推進会総会出席
- 8月・なりすまし詐欺にご注意の防犯注意情報発出
- 9月・あいの里交番訪問による治安情報収集
- 10月・拓北・あいの里地区で交通事故ゼロ1000日達成・北区長表彰
- 11月・交通安全旗の発注
 - ・あいの里交番連絡協議会出席
- 12月・防犯ひまわり隊情報交換会出席
 - ・防犯ひまわり隊歳末特別パトロール実施
- 1月・交通安全旗無償配布に伴うアンケート調査実施
- 3月・単位町内会・自治会に交通安全旗配布

厚生部

今年度は、がん体験者が講師の講演会の案内を2つ発出し、単位町内会長会議の際に還流しました。

集団健康審査とがん検診の日程の案内文書の回覧を各町内会にお願いしました。「あいの里ふれあいまつり」と「みんなで歩こう会」では、受動喫煙防止のティッシュを配りました。

「ぼっぴいフェスティバル」では、全身反応測定や、赤ちゃん抱っこ体験等に参加した方々に健康づくりの大切さを知って頂きました。募金活動では、赤い羽根、複十字シール、日赤募金を地区センターで一括して受け付けた他、北24条、麻生、エルプラザで結核予防、乳がん予防の街頭啓発活動に参加しました。

北区女性文化講演会では、北方領土返還運動について元島民二世の方の貴重なお話を伺いました。次年度も地域住民の健康管理と疾病予防の一翼を担えたらと思っています。

第10回たくあいキャンドルナイト開催

拓北・あいの里地区センター敷地内で1月30日(金)から2月6日(金)、地区センター敷地内にて「たくあいキャンドルナイト」が開催されました。会場では拓北・あいの里地区で採取された草花を押し花にし、その押し花を装飾した160個のアイスキャンドルが並び、神秘的な光景が広がっていました。そしてたくさんのイルミネーションが雪景色に彩りを与え、琥珀色に輝くアイスキャンドルがより一層引き立てられ美しさを増していたようです。

また2体の大きなシマエナガの雪像やハート型のカメラくらがフォトスポットになり、歩みを止めスマートフォンで写真を撮っている方がたくさん見受けられました。冬の風物詩となった「たくあいキャンドルナイト」は地域の方々の思いと創意工夫で寒い冬の夜を温かく彩っているようです。



計報 令和7年8月19日
武田喜市郎
(拓北大野地町内会長)
謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

☆広報「拓北・あいの里」第85号をお届けします。
☆1月7日、「連町創立30周年記念式典及び祝賀会」が盛会裡に無事終了しました。関係各位のご支援ご協力が心から感謝を申し上げます。(「30周年記念誌」もまもなく完成予定)
☆今年度は冬季オリンピック、野球WBC、サッカーW杯など、世界的なスポーツ大会が多くあります。日本選手の活躍に期待を寄せています。
☆広報誌は次年度も9月と3月の発行を予定しています。編集委員5名が一致協力し、拓北・あいの里地域の情報発信に力を注いでまいります。引き続きのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

編集委員

- 三谷 英男 (広報部長)
- 木村 聡 中野 裕子
- 佐々木俊晃 吉野 治美